

令和2年度「市長と語り合う会」について（道川地区）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和2年 10月16日（金）	道川公民館	19:00～20:00	9	2	11

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

- あいさつと市政運営の説明（山本市長）
本年は市長選の年だったため、今日が語り合う会の初開催となる。

1. 令和2年度の当面の課題・状況

施政方針で以下の5つにまとめているが、年初のことで、新型コロナウイルスについては最後の1行で触れただけだった。

・萩・石見空港

発着枠政策コンテスト審査の年だったが、令和5年3月までの継続運航が決定した。現状は新型コロナの影響ではほぼ1日1往復となっており、利用促進の旗を振りにくい状況だが、この地域にとっての命綱であり、2便維持のため適切に対応していきたい。また大阪線も依然、季節運航が続くが、運行日数を伸ばすために手を尽くしていきたい。

・山陰道

特に「益田～萩」のうち須子から小浜までの「益田西道路」事業計画化が、昨年度～今年度の山場であった。お陰様で事業化が決まり、中西及び小浜IC経由のルートが決定した。臨空ファクトリーパークへのアクセスを容易にするルートで、産業振興や雇用拡大を図るうえで重要な決定であった。三隅益田道路（令和7年度開通予定）の開通、益田西道路の着工、「小浜～田万川」の事業化が早急に進むよう、要望していく。

・日本遺産とガーデンツーリズム

中世関連の史跡が、2年越しの申請で日本遺産に認定された。また国交省が認定するガーデンツーリズムに、中国地方にある雪舟関連の庭園等を巡る計画が登録された。このことと空港2往復便継続、益田西道路事業化は今年度の大きな目標であったが、無事達成でき、追い風が吹いていると感じている。今後、観光誘客がしっかりできるかどうかにかかってくる。国の補助制度を活用しながら、多くの方に来ていただき満足いただけるよう進めていく。

・東京オリンピック・パラリンピック

開催延期となり、事前キャンプも1年延期された。どうなるかわからないが、開催されれば万全の体制でキャンプを支えていく。その後はアイルランドとの交流が何らかの形で進むように準備していく考えで、先日駐日アイルランド大使公邸に連絡し、こうした考えをお話した。

・新型コロナウイルス

市内で1名の感染者が出たが、幸いそこから広がっていない。市民の皆様にご協力いただいた成果と思っている。国の特別定額給付金をいち早く支給できるよう取組み、また市独自の緊急経済応援給付金事業なども行った。

2. 連携の具体化と結実

3年前から特に「連携」というキーワードを重視している。これについて具体的な成果につなげていこうということである。

・SDGsに関する連携

2030年までに世界共通で達成することを目指した17の国際的目標で、2015年に国連で採択された。市では環境保護・健康増進を目的とするテラヘルツテクノロジーの実証実験に協力し、この技術を介して世界レベルで問題解決に取り組んだり、AIやIoTなどの新しい技術により生活や農業の質の向上に取り組み、市の発展とSDGsへの貢献を目指している。

・島根県との連携

「島根創生」のために、東西の格差是正が大事であると丸山知事も表明している。また観光テーマとして新たに「美肌県しまね」を前面に出している。美都・匹見の温泉やわさび・ゆずなど美肌効果のある食物を上手く生かし、県と連携を密にして観光誘客を図っていく。空港や高速道整備においても県との連携が重要になってくる。

・民との連携

経済では益田商工会議所、美濃商工会、JA、地域住民の皆様と地域自治組織などと連携して諸課題に取り組んでいく。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 五輪キャンプについて
- ② 道の駅トイレの環境整備について
- ③ 新型コロナ関連の情報発信について
- ④ イベントの自粛について
- ⑤ 日本遺産と交流人口拡大について
- ⑥ 市道の側溝について
- ⑦ 史跡の案内看板について

○ 閉会（秘書課長）

令和2年度「市長と語り合う会」

〔会場 道川公民館 開催日時：令和2年10月16日（金）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 五輪キャンプについて オリンピックが中止になると、アイルランドの選手も来なくなるのではないか。</p>	<p>① 仮に開催中止なら事前キャンプもなくなるかもしれないが、選手は既に益田に来てコースを走っており、官民ともにつながりができている。別の形の交流も考えたいし、自転車以外にもアイルランドの都市との交流などができるよう、在日大使館と話をしている。</p>
<p>② 道の駅トイレの環境整備について 自治会で環境整備を頑張っているが、駐車場・トイレ利用者のゴミ不法投棄が多い。トイレ清掃も苦勞しているが、戸河内などが扉付きに改修されており、そうした要望をしているがその声も十分届いていない。市からも対策をお願いしたい。</p>	<p>② 不法投棄はモラルの問題もあるが、させない設備にすることも大事であり、知恵をいただきたい。トイレ改修についても、事例を参考に、県に対し協議・要望を通じて改善策を探りたい。</p>
<p>③ 新型コロナ関連の情報発信について 市からの情報発信が少ないように思う。保健所は市の組織ではないのか。</p>	<p>③ 検査・感染経路調査・発表などは県の所管事項で、保健所が対応部署となる。感染者についても、県が発表した内容以上の情報が市にはない。市としては感染防止の啓発（三密回避、マスク・手洗いの推奨）や、感染者や医療従事者への誹謗中傷がないよう地道に呼びかけていく。また経済に舵を切るタイミングも図っていかないといけない。</p>
<p>④ イベントの自粛について 神楽に関わっているが、コロナに関連して、イベントなどの自粛をどの段階で解除しようと考えているか。</p>	<p>④ 市主催行事をどうするかを対策会議で議論しているが、これは民間の判断にも影響を及ぼす。10月いっぱいには定員の半分、屋内は百人、屋外は二百人を限度などとしている。どこで制限を無くすかは難しい問題で、結論は出ていない。マスク着用や消毒、体温測定などは随分浸透してきた。状況を見ながら考えていきたい。</p>
<p>⑤ 日本遺産と交流人口拡大について 石見神楽と中世、二つも日本遺産がある。これをどう活用して交流人口拡大につなげていく考えなのか。</p>	<p>⑤ 昨年の神楽も含めて考えると、津和野百景図や、浜田市の北前船、石見銀山と合わせ県西部に5つもあり、うち益田市関連で二つある。神楽は他地域との連携、神和会との協議等で持続可能な体制構築を図っていく。旧益田の中世の遺産は、休館中の歴史資料館をベースにビクターセンターを設置、そこを拠点とした周遊コースづくりを、住民主導の構想で進めていく。</p>
<p>⑥ 市道の側溝について 通学バスが通る市道だが、側溝に山から石が落ちて詰まる。何とかしてほしい。</p>	<p>⑥ 担当課に伝え、なるべく早く対処したい。</p>
<p>⑦ 史跡の案内看板について 「道川城」史跡があり集落で草刈り等行っているが、来訪者から「どこから登ればよいか」聞かれる。看板を立てるとい話を聞いたが。</p>	<p>⑦ 担当課に伝え、なるべく早く対処したい。</p>